

みさと 市議会だより



No. 189

2022年5月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の意思決定機関



祝入学おめでとう



2くみ

1くみ

主な内容

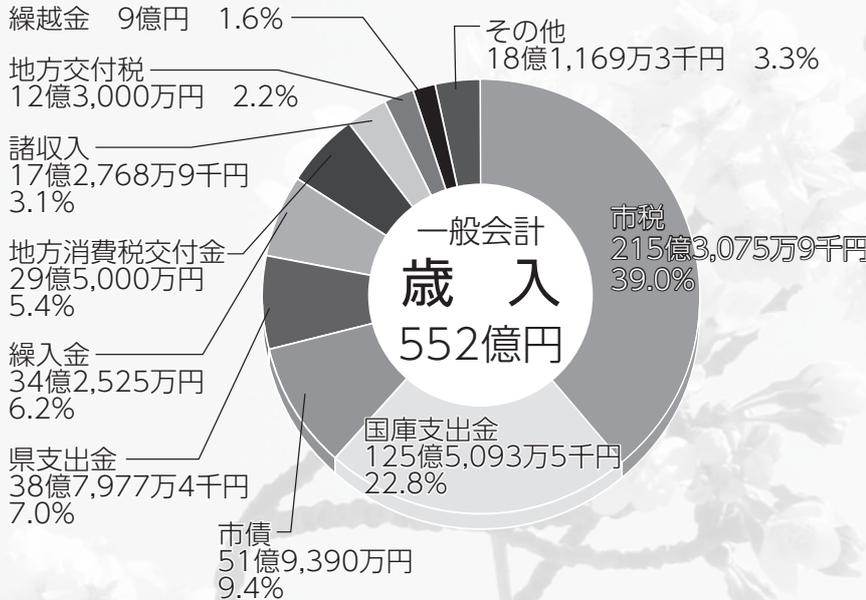
令和4年3月定例会

- 令和4年度予算を審査 2
- 令和4年第1回臨時会及び3月定例会提出議案とその結果 . . 13
- 論点「令和6年4月
前間小学校と後谷小学校が統合へ」 . . 6
- ロシアによるウクライナへの軍事的侵攻に抗議する決議 . . 14
- 市政に対する一般質問 7
- 国・政府に要望 15
- 議会あれこれ 11
- 読者の声 16

新しい春が始まる
(戸ヶ崎小学校)

令和4年度予算を審査

3月定例会では、令和4年度の三郷市のまちづくりの基本となる予算を審議し、可決しました。一般会計予算は、前年度に比べ35億円（6・8％）の増額となる552億円で、予算規模として過去最高となり、15年連続で前年度予算を上回るものとなりました。



歳入区分	説明
市 税	市民税、固定資産税など
国 庫 支 出 金	市が行う特定の事業に対して国から交付されるお金
市 債	公共施設の整備などを行うために、市が長期にわたって借りるお金
県 支 出 金	市が行う特定の事業に対して県から交付されるお金
繰 入 金	基金から一般会計に繰り入れるお金
地方消費税交付金	地方消費税のうち、三郷市分として交付されるお金
諸 収 入	学校給食納付金、有価物等売却代など
地 方 交 付 税	地方公共団体相互間の過不足を調整するため、財政状況に応じて国から交付されるお金
繰 越 金	令和3年度一般会計から繰り越されるお金
そ の 他	分担金、負担金、使用料、手数料、地方譲与税など

市制50周年記念事業

三郷市は、令和4年5月3日に市制施行50周年を迎えました。50周年という大きな節目を祝い、様々な記念事業を行います。

◆市制施行50周年記念式典



40周年記念式典のようす

◆巡回ラジオ体操・みんなの体操会



平成22年度開催時（三郷スカイパーク）

◆記念ラッピングバス運行



ミスカイ交通株式会社の市内各路線で運行

◆タイムカプセル事業



タイムカプセル開封・封入式

その他、歴史アニメ公募事業、NHKのど自慢など

令和4年度 施政方針

市制50周年を迎えて わたしたちの未来 『みさとっぽく、みさと色』



三郷市長 木津 雅晟

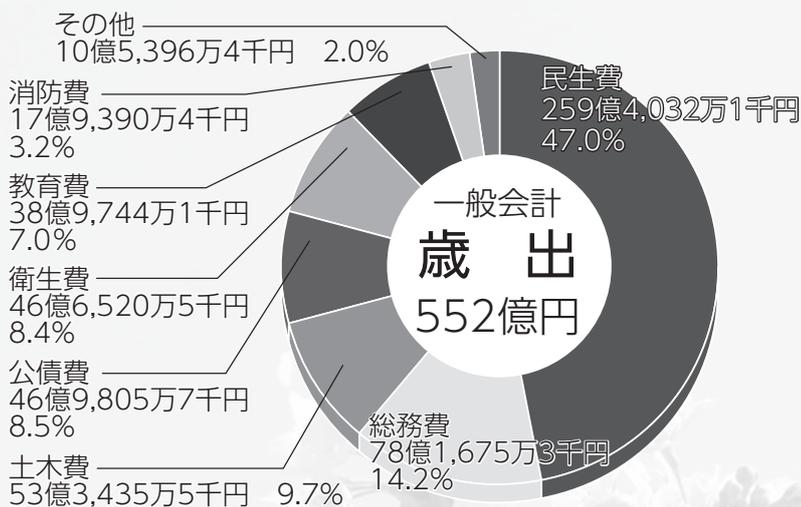
新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、議員各位のご理解を賜り、市民生活と地域経済を守るための多くの独自施策を実施してまいりました。また、ワクチン接種につきましても三郷市医師会をはじめ、関係機関ご協力のもと推進しているところでございます。

令和4年度におきましても新型コロナウイルス感染症対策に注力するとともに、今年は昭和47年5月3日の市制施行から50年の節目を迎えることから、キャッチフレーズ「わたしたちの未来『みさとっぽく、みさと色』」のもと、記念式典、NHKのど自慢、ラッピングバスの運行など、多くの記念事業を実施し、市をあげて50周年を祝ってまいります。

新年度におきましても、先人達の努力により発展を続けてきた本市の歩みを止めることなく、『ふるさと三郷 みんながほほえむまちづくり』を更に推進するため、第5次三郷市総合計画に掲げる3つの重点テーマ「持続可能な拠点の形成」「多様性のある地域の確立」「質の高い教育と切れ目ない子育て支援の強化」における主要な事業をはじめ、各施策を着実に推進してまいります。

市制施行50周年を迎えた本市が更に魅力あふれるまちとなるよう、今後におきましても常にスピード感を持ち、市民感覚と経営感覚を大切にしながら、「ふるさと三郷 みんながほほえむまちづくり」を推進してまいります。

※3月定例会初日に市長から施政方針の表明がありました。



歳出区分	説明
民生費	高齢者、児童、障がい者などの福祉全般の事業に使うお金
総務費	住民票の交付、市税の課税徴収、選挙など市の総括的な事務に使うお金
土木費	道路や河川、公園整備などに使うお金
公債費	市債を返済するために使うお金
衛生費	ごみの収集や予防接種など健康で衛生的な生活のために使うお金
教育費	学校運営の費用や体育施設の管理運営などに使うお金
消防費	消火・救急活動などに使うお金
その他	議会費、商工費、労働費など

令和4年度

特別会計予算

5つの特別会計予算は、各常任委員会で審査し、本会議において可決しました。

【特別会計別予算一覧表】

区分別		予算額
国民健康保険	歳入歳出	135億3,718万3千円
介護保険	歳入歳出	105億4,786万3千円
後期高齢者医療	歳入歳出	19億8,919万8千円
上水道事業※	収入	31億8,462万5千円
	支出	39億9,087万9千円
公共下水道事業※	収入	54億9,658万円
	支出	64億8,771万7千円

※上下水道事業は収益的支出(維持管理など)と資本的支出(建設改良など)の合計額です。

常任委員会の審査概要

(一般会計)

議案をくわしく審査するために開かれた、各常任委員会での令和4年度予算に関する質疑・討論の要旨をお知らせします。

市ホームページをフルリニューアルします

《総務常任委員会》

市ホームページについて、プロポーザル方式により業者選定を行い、高齢者や障がい者を含め誰もが分かりやすくアクセスしやすいものとなるよう、フルリニューアルを予定している。

公用車の省エネ化について、令和4年度は2台のハイブリッド車購入を予定している。EV（電気自動車）の購入については、車両価格が高額であり、充電環境整備などの課題もあるので、今後検討することとしたい。

契約事務については、物品及び維持管理の入札も、令和5年度から埼玉県電子入札共



ホームページをさらに分かりやすく

同システムを利用した電子入札に切り替える予定である。それに伴い、令和4年度は契約システムの改修を実施することとした。

令和4年度の主な事業

3つの柱 重点施策

○持続可能な拠点の形成

～まちづくりは道づくり～

- ・常磐自動車道三郷料金所スマートインターチェンジのフルインター化
- ・南部地域拠点防災コミュニティ施設整備
- ・三郷駅南口周辺交通環境調査検討
- ・インクルーシブ公園整備
- ・新不燃物処理場整備
- ・学校給食センター整備

○多様性のある地域の確立

～地域コミュニティの充実～

- ・希望の郷交流センター整備
- ・河川敷の利用推進（観光振興）
- ・基幹相談支援センター機能整備（障がい者支援）
- ・資格取得支援補助金（中小企業経営・創業支援）
- ・陸上競技場第3種公認取得

○質の高い教育と切れ目ない子育て支援の強化

～子どもたちの成長を見守る・夢を育む～

- ・送迎保育ステーションの増設・ルート拡充
- ・病児・病後児保育予約システム導入
- ・妊産婦健診補助の拡充（産婦健診、多胎妊婦検診）
- ・教育相談室にカウンセラーを配置
- ・小・中学校校舎の長寿命化改修

討論として、「新型コロナウイルス感染症対策など、奮闘している職員に背を向けるような期末手当の減額が含まれていることから反対する」、「SDGsの取り組みなどについて、正しい情報収集とともにバランス感覚を大切に、各事業の実現を図るべきであり、各事業に適切な対応が見られることから本予算に賛成する」などがありました。

手話動画を

市ホームページに掲載

《市民福祉常任委員会》

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に係る連携事業では、毎日埼玉県から電子データで届く自宅療養者のリストをもとに、食料やパルスオキシメーターの希望の有無を電話で確認し、必要な世帯に届けている。市の食料支援



手話動画撮影の様子

については、自宅療養者の同居家族も含め、必要な人数分を一人につき3日分配付している。パルスオキシメーターは、県からの貸与品を世帯に一つ届けている。

手話言語条例推進事業について、広報みさとから、主要なイベントや、ろう者に周知をしたい内容をピックアップしたものを手話動画にし、市のホームページに、毎月アップする予定である。また、デジタルサイネージに手話啓発用の動画を載せることも考えている。

妊産婦健康診査等事業の産婦健康診査の費用について、産婦一人につき、1回5千円までを助成する。妊婦健康診査の助成と同様、市と契約している医療機関の場合は、健康診査費用から5千円差し引いた額をお支払いいただき、それ以外の医療機関の場合は、償還払いになる。

その他、陸上競技場運営管理事業、避難行動要支援者支援事業、病児・病後児保育事業などについて審議しました。

市制施行50周年 記念特別展を開催

《文教経済常任委員会》

郷土資料館運営管理事業について、みさとデジタルミュージアム及び郷土資料館において市制施行50周年を記念し、写真等を活用しながら50年を振り返る特別展を開催する。

教育相談室運営事業について、特別な支援が必要な子どもたちに対して、発達検査を担当するための認定心理士等の資格を有するカウンセラーを配置していく。

コミュニティ・スクール運営事業について、「地域とともにある学校づくり」を実現するため、目標やビジョンを共有し、連携・協働による取り組みを進め、地域とのさらなる具体的交流の足掛かりとしたい。

中小企業経営・創業支援事業について、市内の中小企業で働く従業員がその会社の営む事業に資する国家資格を取得する際に、資格取得に係る



郷土資料館



費用の一部を補助していくとのことでした。

討論として、「長期化する

コロナ禍や、石油の高騰、食料品の物価が上昇する中、就学援助制度の認定基準額の引き上げなど市独自施策が見受けられず、暮らし・生業応援に消極的な予算であることから反対」がありました。

インクルーシブ公園を 整備

《建設水道常任委員会》

都市公園等整備事業について、インター南中央公園にインクルーシブ遊具を整備し、新たに障がい者のための駐車スペースを4台分確保する。また、障がいの有無に関わらず全ての子どもたちが分け隔てなく共に遊べるインクルーシブ公園の整備については、一層の安全確保に配慮しながらすすめていく。

土地区画整理支援事業の環境影響評価業務について、三郷インター南部地区土地区画整理事業では県の条例に基づき、大気質・騒音・低周波音・振動・地下水や地盤・動植物・景観・日照障害等の項目について環境への影響に関する事前調査を行っていた。この度、インター南部地区は開発が概ね完了したため、事後調査として環境への影響を比較調査し、県に提出する。

水路上部歩道活用事業について、上部を歩道として利用



インクルーシブ遊具を整備予定

できる水路は、リノベーションして新たな価値を付加できる水路として整備すべく、令和4年度からは名称を変え、新たな事業として立ち上げる。

そのほか、不法投棄監視パトロール事業や排水ポンプ場維持管理事業などについて審議しました。

最終結論を出す本会議では、各常任委員長から審査報告がなされ、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。

3月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

論点

令和6年4月 前間小学校と後谷小学校が統合へ



3月定例会には、市長から
24議案が提出され、原案通り
可決しました。

3月定例会
2/28~3/18

議案第17号 三郷市立学校
設置及び管理に関する条例
の一部を改正する条例

〈内容〉

三郷市立前間小学校と三郷市立後谷小学校の統合に伴い、条例の整備を図るものです。

▽本会議や文教経済常任委員会で、次のような質疑がありました。

問 学校統合を検討するにあたり、保護者・地域住民への情報配信はどのように行われてきたのか。

答 保護者や地域のかたへは、市のホームページや学校だよりのほか、保護者への学校配信メールや地域の回覧板等を通じて、適宜情報発信を行うとともに、学校での説明会を通じてご意見を伺うことも実施してきた。

問 前間小学校・後谷小学校の統合に至った経緯は。

答 後谷小学校は、平成22年度から令和3年度まで全学年単学級の状態が続いており、前間小学校についても、多く

の学年で単学級の状態が続いている。今後も、両校の小規模化が継続する推計となっていることから、児童によりよい教育環境を整備していくことを目的に、令和6年4月の統合に向け、準備を進めていくこととした。両校の児童が統合後の学校生活に期待が持てるように準備していきたい。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告しました。

討論では、「学校関係者、地域住民、何より子どもたちの意見をしっかりと聞いてから統合の是非を判断すべきであり、現段階での条例改正は時期尚早のため反対」、「平成22年度に、三郷市立小中学校教育環境整備計画策定から11年間にわたり、教育機関の専門家が検討した結果であり、また、教員の負担軽減が、児童のより一層の指導の充実につながることから賛成」がありました。

採決では、特別多数議決（※1）により可決しました。

統合方針策定の経緯

平成22年10月	三郷市立小中学校教育環境整備計画策定
令和2年3月	三郷市立小・中学校教育環境整備計画を改定 適正規模の方針を12学級以上とする
令和2年7月 ～11月	三郷市立小・中学校通学区区域編成審議会（適正規模・適正配置）を設置（全5回）
令和2年12月	学校の適正規模・適正配置に向けた今後の対応を策定
令和3年2月 ～7月	三郷市立小・中学校通学区区域編成審議会（小規模化対応）を設置（全6回）
令和3年9月	前間小学校及び後谷小学校の統合方針を策定
令和3年10月	保護者や地域のかたを対象とした説明会を開催（全4回）
令和3年11月 ～12月	パブリック・コメントを実施

（※1）特別多数議決とは

市民にとって重大な影響がある公の施設の手続きを行う場合は、議会において過半数議決ではなく、地方自治法の規定及び当該条例に基づき、議長を含む出席議員の3分の2以上の者の同意を得なければならないとされております。





市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

西村 寿美枝	宇治 由紀子	一色 雄生	柳瀬 勝彦
鳴海 和美	篠田 隆彦	深川 智加	加藤 英泉
佐藤 智仁	渡邊 雅人	工藤 智加子	田上 広子

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、3日間にわたり12人の議員が活発な論戦を展開しました。

※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

大規模停電に備えて 太陽光パネル型LED街路灯を



半田公園のソーラー街路灯

議員

災害時に三郷市内が突然大規模停電したらどうなるか。真っ暗な中で避難できないことが想定される。そこで、平時から自立した電力創出をしている太陽光パネル型LED街路灯があれば、消えずに大きな目印となり、市民が安全に避難することができる。今日、性能が向上し、雨や曇りの日が続いた場合でも4、5日は点灯可能であり、発災時における信頼性は極めて高い。災害に強いまちづくりのため、太陽光パネル型LED街路灯を導入してはどうか。

市民経済部長

太陽光パネル一体型街路灯、いわゆるソーラー街路灯は太陽光で発電しているため、

その他の質問

行政問題。

子どものワクチン接種と

コロナ禍の健康課題について

発電量が天候に左右されることや、設置にあたり通常のLED道路照明灯の数倍以上の費用が生じてしまうなどの課題がある。現在、本市では、半田公園及び高州一丁目ちびっこ広場等にソーラー街路灯を設置している。避難所経路の交差点等へのソーラー街路灯設置にあたっては、交通安全、再生可能エネルギーの活用や防災対策など様々な観点からのアプローチが考えられる。費用対効果や国の補助事業も踏まえ調査研究していく。

議員

①国の特例承認により5歳から11歳のコロナワクチン接種がスタートした。本件については医師や専門家の間でも意見が分かれており、子どもはリスクを上回るメリットが得られないとして中止を求める声も増えてきている。小児医療に詳しい医師のいる施設で、心筋炎などのリスクを丁寧に説明し、より一層慎重に行うべきと考えるが、市の対応は。②長引くコロナ禍で、高齢者の認知症やフ

レイルの進行が危惧される。最新の医学では、太陽光による体内時計や、免疫、脳への健康効果が研究され注目されている。屋外での健康への取り組みを増やせたら良いと思うが、見解は。

スポーツ健康部長

①小児ワクチン接種については、三郷市医師会と協議し、かかりつけ等の小児科医療機関での個別接種としている。また、安全性や副反応等について、分かりやすい情報提供を行うとともに、安全な実施に努めていく。

福祉部長

②これまでも高齢者の外出や交流の機会を通して、フレイル予防を目的に介護予防教室や、市内25か所で地区サロンを実施し、その一部では屋外での活動も取り入れている。今後も、各種事業について屋外での開催も視野に入れて検討していく。



おおぞらヨガ教室
(セナリオハウスフィールド三郷)

50周年記念行事から 更にまちづくりの勢いを



におどり公園の横断幕

議員 本市は今年で市制施行50周年になり、1年をかけて気運を醸成するため様々な事業に取り組みとある。記念式典やタイムカプセル事業、ラッピングバス運行などの事業が予定されているが「誰が参加するのか、どれくらいの人数が集まり、何人の心を動かすことができるのか」疑問に思った。また、50周年の1年間をピークに終わらせることのないような事業設計になっているのか。三郷市全体で盛り上がっているようにするため、市内の民間企業や様々な活動団体とどのように連携していくのか。

企画政策部長 市制施行50周年記念式典など様々な事業については、幅広い世代、多くの皆様に本市に愛

着を持っていただけるよう工夫を凝らして実施していく。企業や他団体とのタイアップについては、ラッピングバスの車内に市内3つの高等学校の生徒が作成したポスターの掲示などを実施している。更に、三郷中央駅コンコースでのフロア広告や車両内でのPR動画の放映に加え、三郷の歴史を振り返るアニメーション動画の募集事業などを通し、50周年を盛り上げていく。今後も、既存事業の活用などを含め、企業等と連携を図り、引き続き50年の気運醸成に努めていく。

市民生活問題として、 高齢者の交流について

議員 総務省の国勢調査によると、

一人暮らしをする高齢者の数は2015年に全国で約592万人になった。配偶者に先立たれることで、「バツ1」ならぬ「ボツ1」となる一人暮らし高齢者が増えている。1990年以降は熟年離婚も増加した。男女ともに平均寿命が80歳を超えた日本。長い人生を考えた際に、一人暮らしのシニアが新たなパートナーを見つけることで社会とつ

ながることは長い老後を幸せに暮らす第一歩になる。市民が生きがいを持って健康で長生きするために、一人暮らしのシニアが出会う機会や交流の場を企画して、新しいパートナーを見つけるサポートを行政として取り組むべきでは。

福祉部長 高齢者のパートナー探しを含む交流は、各個人の互いに求める価値観の違いやパートナー間の子どもとの人間関係や財産関係、介護、葬儀など様々な課題もあり、慎重な対応が必要である。行政として積極的な支援は難しい。しかしながら高齢者が豊かな生活を送るうえで様々な交流は欠かせないものであり、今後もイベントの内容や参加しやすい工夫について他市の事例等を参考に調査研究していく。

リトルベビーハンドブック (低体重児用母子手帳)の配布を

議員 「リトルベビーハンドブック」とは、2500グラム未満の低

体重で生まれた子ども用に作られた母子手帳を言う。現在配布されている母子手帳は、子どもの成長を細かく記録するために丁寧に作られ



ているが、低体重で生まれた子は発育も同じ月齢の子と異なるため、自分の子どもの成長が違うことに悲しみを感じるとい声が上がっている。その声を受け、低体重児用の母子手帳を配布する自治体が増えている。三郷市の見解は。

子ども未来部長 ポケットみさとの三郷市予防接種自動スケジューラー中の「成長の記録」のツールに、身長と体重を記録することができ機能があり、低出生体重児にも対応している。また、出生後4か月までの乳児を対象とした「乳児家庭全戸訪問(こんにちは赤ちゃん)事業」において、低出生体重児には、月齢

や年齢の記録を修正月齢で行う方法を紹介するなど、保護者に寄り添えるよう対応している。「リトルベビーハンドブック」の配布については、埼玉県から、令和4年度中に、低出生体重児を対象とした「埼玉県版リトルベビーハンドブック」を作成する予定であるとの通知を受けており、それを活用していきたい。

その他の質問 教育問題など。

GIGAスクール構想の 成果と課題は

議員

文部科学省のGIGAスクール構想の実現に向けて、児童生徒に一人一台タブレットPCが整備され、各小中学校における本格的な活用が開始されたが、①通常授業におけるICT活用状況は。②コロナ禍で学級閉鎖等が発生した場合の取り組みは。③教職員及び児童生徒からみたGIGAスクール構想の成果と課題は。

学校教育部長

①大型テレビへの資料映像の提示、実験や観察でのカメラ機能の活用、インターネットによる調べ学習など、授業に活かしている。②タブレットを家庭で使し、オンラインでの健康観察、学級活動等を通じたコミュニケーションづくりを活用した。また、一人の教員による複数学級の学習指導に



タブレットを使った授業

活用している例もある。③ICT活用により、教員は高い学習効果につながる取り組みができ、教員間での授業実践の共有など、業務の効率化が図られている。児童生徒は自分の考えなどを表現したり、深めたりすることができ、2月に開催した三郷市プレゼンテーションコンテストでは、生き生きとした発表を見ることができた。管理面、健康面における課題に対しても、より一層の指導の充実を図っていく。

その他の質問

農業政策。

就学援助制度

オンライン学習通信費の援助を

議員

就学援助制度は、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、小中学生がいる家庭に学用品費や学校給食費などを市町村が援助する制度である。コロナ禍で親が減収となるケースが少なくない今、制度が果たすべき役割は極めて大きい。①コロナ禍前の状況や現状は。また、コロナ禍のなか、GIGAスクールが始まり、インターネットを利用した家庭学習が可能となっている。こうした変化に対応し、②オンライン学習通信費の援助を行う

てほしいが、見解は。

学校教育部長

①令和元年度の就学援助費の当初認定者数は、小学校で要保護児童84名、準要保護児童488名、中学校で要保護生徒54名、準要保護生徒280名である。令和3年度の当初認定者数は、小学校で要保護児童79名、準要保護児童494名、中学校で要保護生徒49名、準要保護生徒293名である。②令和4年度の国の要保護児童生徒援助費補助金として、オンライン学習通信費に対して1万4千円を設定している。準要保護の児童生徒への適用については、世帯数で試算すると、約840万円を要するため、慎重に検討していく必要がある。

その他の質問

後期高齢者医療など。

送迎保育ステーションを 三郷駅近辺にも

議員

4月から送迎保育ステーションが2か所になるが、2か所めも三郷中央駅である。以前から、送迎ステーションの設置は、三郷駅を通勤で利用するかたや早稲田地域、三郷駅近辺にお住いの子育て中の方々からも要望がある。子どもを迎

えに行くまで、一時的にせよステーションで預かってもらえることは、帰りの電車を一本乗り遅れた場合などでも、親の気持ちとして、その安堵感は計り知れないものがある。保護者の負担軽減、利便性向上のため、また、施政方針の中でも質の高い教育と切れ目ない子育て支援の強化をうたい、住みやすさを強調した三郷市として、3か所めの送迎保育ステーションは三郷駅近辺に早期設置を。

市長

子どもを安全に預かることのできる施設と送迎バスの待機場所の確保、また、保育士の確保など増設するためには様々な条件があり、課題への調整が必要である。まずは、4月からの送迎保育事業の利用状況などを分析し、今後の児童人口の推移や送迎保育ニーズ等を見極めていく。

その他の質問

開発問題など。



送迎保育のバス

電動車両に対する 交通ルールの周知を



議員 近年、電動アシスト自転車の

需要が伸び始め、筋力が低下した高齢者でも負担なく移動できる乗り物が普及してきた。電動バイクの需要も高まっているが、電動車両に関する交通ルールについてはまだ知られていない状況である。①更なる交通安全推進を図るために、条例・規則の整備や住民へ周知を行う必要があるのでは。②東京都では電動自転車に乗る際にナンバープレートの取付を行ったり、条例で65歳以上の自転車利用者ヘルメット着用を努力義務化している自治体もあるようだが、市の状況は。

市民経済部長 ①道路運送車両法

では、電動バイクは駆動モーターの定格出力により3区分、道路交通法の運転免許区分では4つに分けら

れている。それぞれ定格出力の区分が異なるため、正しく理解できるよう、関連部署と連携して適切な周知を検討していく。②電動自転車は道路交通法上、原動機付自転車と同じ車両区分になり、道路運送車両法に則りナンバープレートの取付は必須である。また、埼玉県の条例でも「高齢者の家族はヘルメットの着用等について助言するよう努めなければならぬ」と定められているので、これら法律や県の条例を周知していく。

その他の質問 道路環境の向上についてなど。

パーキング・

パーミット制度について

議員 公共施設や商業施設などに

設置されている障がい者等用駐車区画に関して、現在、健常者による不適正利用等や、外見からは分かりづらい障がい者等用駐車区画を利用した際、不適正利用ではないかと疑念の目が向けられ、利用に二の足を踏んでしまうといった問題が起きています。こうした状況を解決するため、パーキング・パーミット制度という

自治体発行の利用証を発行し、同制度に協力する施設で共通して使用できるようにするといった取り組みが全国的に広がっている。本市においてもこうした取り組みを実施すべきではないか。

福祉部長 パーキング・パーミット

制度については、その有効性や見ただけでは分かりづらい障がい者等をお持ちのかたを明確にできるなどの効果がある。ただし、他自治体との連携などの各種課題もあるため、県の動向を注視し、単独市町村で導入している事例や運用状況を調査研究していく。

その他の質問 空き家対策など。

孤立・孤独対策に重点を

議員 2019年3月内閣府の調

査では「中高年のひきこもりが全国で61万3千人にのぼる」と推計値を明らかにした。その背景には、格差と貧困の拡大など日本社会の矛盾がある。専門家は、ひきこもりを自己責任と捉えるのは誤りで、この現状を放置すれば近い将来、膨大な貧困高齢者が生み出されかねないと警鐘を鳴らしている。内閣府は、昨



ふくし総合相談室の窓口

年12月、孤立・孤独対策重点計画を示し、総合的な対策を推進するとして、計画の柱である「声を上げやすい環境整備」「見守り・交流の場や居場所を確保し人と人のつながりを実感できる地域づくり」「ひきこもり地域支援センター」の設置など、市としての取り組みについての見解は。

福祉部長 ふくし総合相談窓口

において、生活にかかる困りごとの声を、継続的に聴く姿勢で業務を行っているが、よりきめ細やかに対応していくためには、孤立・孤独に関する支援について地域のニーズの把握に努める必要があると認識している。今後、孤立・孤独にかかる意見交換や、先進市の取り組みなどを調査、研究していく。

その他の質問 ジェンダー平等社

会の形成についてなど。

交通弱者への施策～路線バスの
現状と新しい移動のかたち

議員 高齢者や障がい者など、自分

で自動車を運転できない人のうち、公共交通機関が不十分な地域に住んでいるため、買い物物等日常的な移動に不便を感じている方々がいる。地域の交通を支える路線バスは少子高齢化や人口減少、在宅勤務の増加などにより減便や撤退を余儀なくされている。そんな中、日本各地で企業と自治体とが協働し、太陽光等の再生可能エネルギーを動力にした脱炭素型の新しい移動サービスが創出されている。本市における、今後の交通課題解決に向けた構想は。

まちづくり推進部長 地域の移動

手段の維持・確保はまちづくりや観光振興、高齢者の社会進出や免許返納の促進等に寄与するものと捉え、既存の公共交通サービスに次世代の交通サービス(MaaS)の概念を導入するなどして、地域の交通課題解決に取り組んでいく。

議会あれこれ

【視察研修を行いました】

○政志会

4月21日、東埼玉資源環境組合第一工場における「東埼玉資源環境組合の役割」について。

【議員の所属会派変更】

1月24日付で、宇治由紀子議員が、政志会からみんなのみさとに所属会派を変更しました。

【総務常任委員会の副委員長変更】

2月28日付で、総務常任委員会の副委員長が、宇治由紀子議員から寺沢美紗議員に変更になりました。

【議会だより編集委員会】

2月28日付で、宇治由紀子議員が、議会だより編集委員に新たに選出されました。

【特別委員会を開催しました】

2月22日、三郷早稲田北部地域拠点整備対策特別委員会を開催しました。

委員会では「(仮称)三郷流山橋(三郷流山橋有料道路事業)・三郷料金所スマートインターチェンジ(フルインター化)の現状と今後」について報告を受けました。

<主な内容>

- 小谷堀橋の工事予定など
- まちづくりに対する土地利用意向調査の結果など

【議会の詳細は「会議録」で】

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお3月定例会の会議録は5月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開

…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますのでご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索



三郷中央におどりプラザで泳ぐこいのぼり

議会を傍聴しませんか

議会傍聴は議会活動に触れることができる最も身近な方法です。市政への理解を深めていただくためにも傍聴をしてみませんか。

※傍聴の際に手話通訳、または要約筆記を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局へお申し込みください。

問い合わせ 議会事務局 ☎048(930)7768



手話通訳により傍聴する様子

..... 傍聴のルール

- (1)騒ぎ立てたり、拍手をするなど可否を表明したり迷惑となるような行為をしないでください。
- (2)みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3)携帯電話・カメラ・録音機等電子機器の電源はお切りください。
- (4)飲食または喫煙をしないでください。
- (5)その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。

※新型コロナウイルス感染防止のため、傍聴をされるかたは、入場時に手指消毒及びマスクの着用をお願いいたします。また、体調のすぐれないかた（せき・発熱など）は、傍聴をお控えください。

★傍聴されるかたは、議長、係員の指示に従ってください。

..... 傍聴 Q&A

Q. 議会はいつ傍聴できますか。

A. 議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。詳しい日程は議会事務局にお問い合わせください。

Q. 議会を傍聴したいのですが、どのような手続きをするのですか。

A. 本会議は原則として、どなたでも傍聴ができます。通常は午前10時から会議が開かれますので、7階傍聴席入口で氏名・住所を記入してから傍聴してください。なお、委員会の傍聴は委員長の許可が必要となり、6階議会事務局で受付します。

Q. 子どもと一緒に傍聴したいのですが。

A. お子さんの傍聴も可能ですが、小さなお子さんは保護者の同伴が必要です。

Q. 車椅子でも、議会の傍聴はできますか。

A. 車椅子のかたのためのスペース（3席）があります。

令和4年6月定例会の予定表

月日	曜日	会議別
5月30日	月	本会議 (議案説明・ 質疑など)
6月1日	水	
6月2日	木	委員会
6月7日	火	本会議 (議案採決・ 一般質問など)
6月8日	水	
6月9日	木	
6月10日	金	

※正式には、市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

次回の6月定例会は5月30日(月)午前10時に開会予定です。

第1回臨時会及び3月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

■第1回臨時会

○ = 賛成 × = 反対

	号	件名	結果	政志会	21世紀クラブ	公明党	日本共産党	ネットワークみらい	無所属
議案	1	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	2	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	3	令和3年度三郷市一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	○	○	○	○

■3月定例会

	号	件名	結果	政志会	21世紀クラブ	公明党	日本共産党	ネットワークみらい	みんなのみさと	無所属	
議案	4	三郷市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	5	三郷市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	6	三郷市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	7	市長及び副市長の給与等に関する条例及び三郷市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	8	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○	
	9	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	10	職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	11	三郷市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	12	三郷市立希望の郷交流センター設置及び管理条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	13	三郷市役所出張所設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	14	三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	15	三郷市立児童館設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	16	三郷市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	17	三郷市立学校設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○	
	18	三郷市立公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	19	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	20	令和3年度三郷市一般会計補正予算(第12号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	21	令和3年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	22	令和4年度三郷市一般会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	
	23	令和4年度三郷市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	
	24	令和4年度三郷市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	
	25	令和4年度三郷市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	
	26	令和4年度三郷市上水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	
	27	令和4年度三郷市公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	
	議員提出	28	ロシアによるウクライナへの軍事的侵攻に抗議する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○
		29	地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○
		30	介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わっていませんが、議案第17号は特別多数議決(3分の2以上の賛成で可決)の議案のため、議長も採決に加わっています。

会派名(人数)	所属議員名
政志会(8)	武居 弘治(議長)、篠田 正巳、佐藤 裕之、佐々木 修、田上 広子、篠田 隆彦、齊藤 幹郎、寺沢 美紗
21世紀クラブ(5)	菊名 裕、岡庭 明、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、渡邊 雅人
公明党(5)	酒巻 宗一、鈴木 深太郎、佐藤 睦郎、鳴海 和美、西村 寿美枝
日本共産党(3)	工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
ネットワークみらい(1)	市川 文雄
みんなのみさと(1)	宇治 由紀子
無所属(1)	一色 雄生



ロシアによるウクライナへの 軍事的侵攻に抗議する決議

全議員賛成で可決

我が国を含む国際社会が強く自制を求める中、本年2月24日、ロシアによるウクライナへの軍事的侵攻が開始された。

このような武力による一方的な現状変更は、国連憲章に定められている基本原則である国家の領土の一体性及び主権の尊重に対する重大な違反であり、国際社会の平和と安全、秩序を著しく損なう暴挙であり断じて許すことはできない。

本市議会は、今回のロシアによるウクライナへの軍事的侵攻に対し、嚴重に抗議するとともに、攻撃の即時停止、軍の撤収、国際法の順守を強く求めるものである。
以上、決議する。

令和4年3月7日

埼玉県三郷市議会



今回の
決議では…

3月定例会では、1件の決議を行いました。決議とは議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決のことです。

議案第28号の「ロシアによるウクライナへの軍事的侵攻に抗議する決議」は、事態の緊急性から定例会の8日目となる3月7日に上程し、即座に可決しました。

国・政府に要望

3月定例会では2件の意見書を提出しました。

議案第29号 地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書

(要望事項)

1. すべての子どもたちの学びの継続のために

すべての地域で、感染症の拡大防止や不登校児童生徒への柔軟な対応など、誰もが何処でも安心して学びが継続できるように、リモート授業を可能にするための通信環境等の整備、デジタル教材や通信料の無償化など、各家庭の状況に配慮した対応ができるよう、所要の措置を講じること。

2. 医療への適時適切なアクセスのために

地域住民が安心して医療にアクセスできるよう、オンライン診療等を誰もが身近に受けられるように、現在、オンライン診療を適切に実施する前提となっている「かかりつけの医師」について、各地域に適切に配備すると同時に、その存在と役割

を周知する広報活動の充実など、すべての住民が「かかりつけの医師」に繋がれるための取り組みを強化すること。

3. 新しい分散型社会の構築のために

地域の新しい兼業農家やデジタル人材の確保に向け、「転職なき移住」を実現するためのテレワークの拡大や、サテライトオフィスの整備等に対する補助金等の拡充や税制の優遇、更に移住者への住宅取得支援や通信料金の軽減など、分散型社会の構築への総合的な取り組みを強化すること。

4. 持続可能な地域の医療と介護のために

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、介護および看護分野における人材不足の解消に資するICT技術を用いた支援機器の開発と実証実験への支援を拡充するとともに、当該支援機器の現場への適時的確な導入を促進するために、その機能と安全性を適切に

「意見書」とは…

公益にかかわることについて、議会が意思決定機関として意見をまとめ、議決し、国等の関係機関へ「意見書」として提出することです。



評価した上での人員の配置基準の見直しを迅速に図られる体制を整備すること。

5. 地域住民の安全で安心な移動のために

政府では、高齢化が進行する中山間地域における生活の足の確保等のため「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの実証実験を平成29年度より全国18箇所で行ってきた。こうした技術面やビジネスモデル等に関する実証結果を踏まえ、各地域への実装配備が進められるように、導入要件の検討や補助事業の創設などに早急に取り組むこと。

議案第30号 介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種拡大を求める意見書

(要望事項)

1. 臨時の報酬改定(令和4年10月

以降)において新設される「新たな加算」については、現行の二つの加算(「介護職員処遇改善加算」及び「介護職員等特定処遇改善加算」)の統合を含めた一本化を検討するなど、事務手続きの簡素化に最大限努めること。

2. 「介護職員等特定処遇改善加算」の配分方法について、その対象者については、事務職員等も含めて、法人や事業所が実情に応じて柔軟な判断を行いながら、加算金の弾力的な運用が可能となるよう所要の措置を講じること。

3. 原則3年ごとに行う公的価格の見直しにおいては、現行の加算(「介護職員処遇改善加算」及び「介護職員等特定処遇改善加算」との整合性を踏まえた上で、各介護職員の勤続年数と施設内でのキャリア検定制度などを組合せた人件費をベースにしての事業所毎の介護報酬総額を算定する方式に変更するなど、介護報酬申請の手続きの簡素化と、人材確保への事業者の裁量権を拡大するための制度の刷新を検討すること。

※29号・30号ともに一部抜粋。



次の50年が更に成長発展する町に

無職 70代 早稲田1丁目在住

三郷市は5月で市制施行50周年。おめでとうございます。私は三郷市に住んでほぼ43年です。生まれも育ちも三郷の先輩方からは、三郷はかつて「陸の孤島」だったとよく聞きます。今は都心にも50分足らずで行けます。また、県内有数の大型ショッピングセンターもあり、県外ナンバーの車も多く見掛けます。

来年には、新「三郷流山橋」が完成予定とのこと。水と緑のきれいな、そして夕日や富士山もきれいに見える三郷市。そんな環境の良さを保ちつつ、学園施設や企業を誘致するなどバランスの取れた発展を期待します。子や孫達にも喜ばれる町に。

魅力ある街づくり

無職 70代 三郷3丁目在住

市制50周年ということは、私共が昭和47年5月に結婚して、三郷に住み始めて50年ということになります。

当時は田畑の広がる田園地帯でしたが、三郷団地ができてから町が市になり保育所、学校や道路等々公共施設の整備と大型開発で都市化が進み暮らしやすくなりました。半面、自然の風景が減って、田舎育ちの私共としては少々寂しく思うこともあります。

常磐道のスマートインターのフル化と三郷流山橋（仮称）の架橋で新たな開発が始まります。自然との調和を取り入れた魅力ある街づくりで私たちの暮らしが一層豊かになることを期待しています。



お稚児練り (彦倉虚空蔵尊)

